

事業番号	09 03 04	事業改善シート（令和7年度実施事業分）	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input checked="" type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input type="checkbox"/> 点検
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課
			実施期間	S23 ~	E-mail	nogi @ pref.nagano.lg.jp

1 現状と課題

・人口減少・高齢化等により基幹的農業従事者が大幅に減少（73千人（2015年）→56千人（2020年））し、農業・農村を支える担い手が不足している状況であることから、意欲ある若い世代の新規就農者の確保及び本県の農業生産を支える担い手の育成が急務となっているほか、スマート農業技術と併せた生産方式の転換等による生産性の向上が求められている。

・本県農業をけん引する中核的経営体が増加（8,998経営体（2015年）→9,948経営体（2020年））し、規模拡大に伴う経営の複合化・多角化など企業的な農業経営が必要となる中、普及組織に対し、経営管理能力の向上に向けた支援や効率的な栽培管理技術の普及等が求められている。

2 事業目的

・農業経営者が、新たな農業技術や環境と調和のとれた農業生産、多様化する流通・消費形態、高度情報化等に対応し、地域で活躍できるようにする。

・農業・農村を担う組織づくりを進め、地域農業の活性化を図る。

3 事業目的を達成するための取組

①生産性向上技術や持続可能な農業技術の迅速な普及

・県オリジナル品種の作付拡大による農業経営体の収益性向上を図るため、農業者や産地が抱える問題を的確に把握・分析し、試験場で得られた技術・品種開発の成果を実証展示や研修会等により迅速に普及

②農業者の経営改善に向けた支援

・地域農業を支える担い手の生産性向上を図るため、スマート農業技術の導入と併せた生産方式の転換やトヨタ式カイゼン手法などの導入によって経営改善を支援

③地域の担い手の確保・育成

・新規就農者や多様な担い手の確保・育成を図るため、関係機関と連携して就農を支援

・地域の農業農村のリーダーを育成するため、知事が認定する「農業士」、「農業経営士」及び「農村生活マイスター」の認定を支援



〈スマート農業機械の操作体験研修会〉

4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし -:数値なし)

No.	指標名	単位	R4年度		R5年度		R6年度		R7年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	推移	実績	推移	見込	推移			
①	ぶどう「クイーンルージュ®」栽培面積	ha	159	↗	181	↗	212	↗	216	△	県オリジナル品種の作付拡大状況を把握する指標として、県で振興するぶどう「クイーンルージュ®」の栽培面積を設定。令和9年度目標の224haに向けて、216haを目標値として設定。
②	カイゼン手法導入経営体数	経営体	43	↗	54	↗	63	↗	73	△	県普及事業における共通課題達成目標に基づき設定。前年度見込値63に、支援センターの規模に応じて経営体を新規に追加した73を目標値として設定。
③	農村生活マイスターの認定者数	人	13	↗	18	↗	15	↘	15	△	農村の女性リーダーの育成を進めるため、第4期長野県食と農業農村振興計画の達成指標に基づき、毎年15人の認定を目標として設定。

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標（☆印は主要目標）	単位	直近3か年/年度分の状況						目標	
				年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値	年/年度	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	☆農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700
2-1①	成長産業の創出・振興	農業における中核的経営体数	経営体	2021 (R3)	10,044	2022 (R4)	10,061	2023 (R5)	10,288	2027 (R9)	10,700
2-3①	地域の建設業等における担い手の確保の推進	新規就農者数(49歳以下)	人/年	2021 (R3)	212	2022 (R4)	189	2023 (R5)	172	2027 (R9)	215

6 事業コスト

(単位：千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 (予算現額)	うち一般財源		
R7年度	予算案		77,397		77,397	39,242	177.0
	要求		77,397		77,397	39,242	
R6年度	0	70,327	7,099	77,426	31,149	179.0	
R5年度	0	83,233	△ 10,976	72,257	43,465	59,764	179.0
要求からの 主な変更点	要求どおり						

事業番号	09 03 04	細事業一覧（令和7年度実施事業分）			□当初要求 ■当初予算案 □補正予算案 □点検		
事業名	農業改良普及事業		部局	農政部	課・室	農業技術課	

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算		
1	農業改良普及運営費		57,430 千円	43,279 千円	予算案 要求	50,660 50,660 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）				
1	農業改良普及運営費	直接	地域における課題解決を支援するため、県下10所の農業農村支援センターに普及指導員を配置して、普及活動を展開 普及指導対象15,000経営体、調査研究80課題				

細事業 No.	細事業名		R5年度 当初予算	R6年度 当初予算	R7年度 当初予算		
2	農業改良普及事業費		25,063 千円	27,048 千円	予算案 要求	26,737 26,737 千円	
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和7年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）				
1	農業改良普及事業費	直接	担い手の確保・育成や農業関係試験場が開発した新技術・新品種の普及、スマート農業やカイゼン手法の導入による農業者の経営改善を図るため、市町村やJA等の関係機関と連携しつつ普及活動を展開 農業者に対する研修会等2,000回、新規就農促進のための交流会等30回				